

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	アセスメントシートを使用した心身の情報は、3カ月ごとに見直しているが、生活歴や生活習慣等の記録が少ない。	生活歴や生活習慣等の把握について、記録様式も含めた改善をし、またそれを全スタッフで共有し、サービスの向上を目指す。	入居前の生活や現状の暮らしの把握を、早急に担当スタッフと行き、アセスメントシートに記入していき、スタッフ全員で共有する。	3ヶ月
2	26	計画は、利用者の能力、趣味、楽しみを重視しているが、計画に心身の情報が十分に反映されていないものがある。	心身の情報や、これまでの暮らしの情報をもとに、より具体的なサービス計画を作成する。	地域でその人らしい暮らしの継続のために、心身の情報やこれまでの暮らしの情報収集や、本人や家族からもう一度、話しをうかがう。	3ヶ月
3	20	馴染みの人や、場所の把握はしているが、記録が十分ではない。	把握できた馴染みの関係は、マップにして記録に残し、全職員で共有し、サービス向上に努める。	担当職員がもう一度情報収集し、馴染みの関係のマップを作成する。	3ヶ月
4	2	地区会や、地域の共同作業への参加など地域の一員としての役割を担えるようにしていきたい。	地域の掃除の共同作業や、地区会への参加をし、地域の一員としての役割を担えるようにしていきたい。	運営会議で、民生委員の方から情報を収集し、参加していくようにする。	1ヶ月
5	4	評価結果をサービス向上に活かせる取り組み。	サービス評価を運営推進会議の活用結び付けられるように、評価制度についての共通理解を深め、評価結果をサービス向上に活かせる取り組みをする。	次回の運営推進会議で、サービス評価の共通理解を深められるよう説明し、結果の報告をする。	1ヶ月

6	35	年2回は火災訓練を行い、うち1回は消防署の協力は得られているが、地域住民の協力は得られていない。	災害時は、地域住民の協力は欠かせないので、地域の自主防災訓練での連携や、日常的な交流が出来、地域の協力が得られるようになる。	運営推進会議で、自主防災訓練の日時の相談をし、参加協力を得られるようお願いをし、日常的な交流が得られるよう相談する。	2か月
7	33	重度化及び看取りに関する指針に沿って説明し、意向の確認はしているが、同意書は作成していない。	看取りの方針等への同意書の作成、看取り介護の研修に参加し、看取りに関する職員の意識向上や、体制の充実に向けた取り組みをする。	同系列のグループホームへ看取りの同意書の作成方法を情報収集し、独自のものを作成していく。看取り介護の研修は、積極的に参加できるように計画していく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。